

一覧詳細

1	対象となるがん	進展型小細胞肺癌 (ES-SCLC)
2	使用される新薬 (治験薬)	タルラタマブ (AMG 757)
3	実施方法 (治験のデザイン)	ランダム化、非盲検、多施設共同、第Ⅲ相試験 A群: タルラタマブ + デュルバルマブ併用投与群 (被験群) B群: デュルバルマブ単剤投与群 (対照群) ※この治験に参加した患者さんは、A群、B群のいずれかの治療を受けることになります。 A群になるかB群になるかはわかりません。
4	治験に参加いただける患者さんの 身体状況 (患者選択基準) ※患者選択基準の概要の一部です。	①18 歳以上の方 ②組織学的または細胞学的にES-SCLC と確認された方 ③ES-SCLC の一次治療としてデュルバルマブとの併用下で4 サイクルのプラチナ製剤とエトポシドの化学療法を完了しており、がんの進行が認められない方 ④全身状態が良好で、身の回りのことが自分でできる方 ⑤前治療の抗がん治療に起因する毒性が、脱毛又は疲労を除き、軽度まで回復している方 ⑥臓器機能が十分である方 ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
5	治験責任医師	呼吸器内科 里内 美弥子 医師

知的財産権の保護等の理由により、非公開の要望のあった項目については、表中の項目を「－」としています。